

## 水の源流地に住む私にできること

山添村立山添中学校 二年

中 暖子

私は、奈良県の北東部、大和高原の中にある、神野山のふもとの村に住んでいます。家の横を、小さな川が流れています。この川は、小さい頃、どこまで流れているのだろう。私は小さい頃から疑問に思っていました。

小学四年生のときのことです。私が疑問を抱きながら川を眺めていると、

「この川は小さいけれど、遠い大阪の海へ流れてるねんで。」

と、祖父が教えてくれました。このとき、やっと心の中の疑問が消えました。でも、本当に大阪とつながっているのだろうか、どのようなルートでつながっているのだろうか。私の中で新たな疑問が生まれました。そしてそれを、夏休みの自由研究で調べてみることにしました。まずは、私の家の横を流れている川

の原点をたどってみました。ずっと坂道を登っていくと、神野山の山頂近くの弁天池にたどりつきました。山のあちこちから、きれいな湧き水がしみでていました。それらが川の始まりになるのです。それから私の家の横を通り、いくつもの小さな川が集まって、いったん上津ダムに蓄えられます。そして遅瀬川となり、名張川と合流して、木津川・淀川となつて大阪湾へ注いでいました。その途中には、ダムや浄水場があり、水が繰り返し使われていることが分かりました。また、きれいな景色や、めずらしい橋、河原を利用したグラウンドなどがあり、川は水を運ぶとともに流域で生活する人々の文化も、支えていることが分かりました。

私の家では、山の湧き水を簡単にろ過した

だけの水を、生活用水に使っています。源流地の水を、まず一番に使えるのは私たちです。そんな私たちが水をきたなく汚して、そのまま流してしまうと、どうなるのでしょうか？困ってしまうのは、下流の人々です。大げさに言うと、蛇口をひねったら汚い水がでてくるようなものです。そんな水、安心して飲むことができませんか。例えば下流までに浄水場があつたとしても、ひどく汚れた水をきれいにするには、たぐさんの費用がかかります。その費用も税金でまかなわれているので、大きな負担となります。

昔は、川で洗濯したり、お風呂や台所で使つて汚れた水を、そのまま川へ流していたそうです。でも今は、家庭用浄化そうを設置して、水をきれいにして川へ流しています。浄化そうの設置や点検には、費用もたくさんかかるけど、流した水をまた利用するためには必要なことだと思えます。家で手伝いをするときに、「洗剤を使いすぎるな」とか、「フライパンは油をふきとつてから洗え」とか口うるさく言われます。めんどうくさいなあ、と思うけど、きれいな水を下流に届けるために

は、注意しなければならぬことです。水の源流地に住む私にできることは、下流の人々に汚れた水を流さないことです。そのためには、水の使い方に気をつけ、水を大切に、きれいな湧き水を出してくれる森林を守るなどと思えます。

これからの生活の中では、常に水の行方、気をつけながら生活していきたいです。